

【教育目標】

○いのちを大切にしよう ○なんでもやる気を出してやりましょう

○だれにでも親切にしましょう。

基本方針「グローバル教育の推進」(社会に貢献できる人間を育成する)

生涯を通じて自分の国や地域の伝統や文化についての理解を深め、人権、平和、異文化などのテーマを世界規模でものごとを考える力を身につけるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）のように、自分とは全く異なる考え方を持つ人々と一緒に、共通の課題に対して世界規模で協力して解決する力を養う。



将来を見据えた指導

「気付く目、心、感覚」「解決に向けて考える力、行動する力」の育成 **今年度のテーマ**

①SDGsの理解 ⇒世界に目を向ける力

人権教育 ⇒ 国際理解 ⇒ 心の教育 ⇒ 食育 ⇒ 成木学

○17の目標へのアプローチ

- ・世界に目を向ける「視野を広げる言葉がけ」
- ・アマガサスの森・栽培活動と食品加工
- ・地域とのつながりや交流「平和教育」
- ・児童会活動の充実

気付きを育てる。学んだことを他の地域・国へと広げる

②プログラミング教育の充実

⇒未来に生きる力

学力向上

情報教育

◎アンプラグド(プログラミング的思考)

ゴールを設定 → そのためになにが必要か
→ 解決への道筋をイメージできる

- バーチャル(仮想空間での疑似体験)
- ロボティックス(プログラミングによる制御)

身に付けた学力を生かす場面を作り、実践していく

③英語教育の充実

⇒国際感覚

キャリア教育

小中一貫教育

コミュニケーション力

○全学年での英語活動・英語科

○国際理解教育

- ・他国文化を学ぶ(外国人から学ぶ)
- ・地域の違いを学ぶ(他地域の文化)

○トウキョウグローバルゲートウェイの体験

世界に目をむけていく、問いかける

⑦創立30周年を祝う

→地域・学校を愛する心を育てる

心の教育

成木学

○創立30周年を祝う

- ・成木について考える場面を設定
- ・成木地区の昔やこれからを考える

○地域と共にある学校

- ・地域への貢献(環境・発表)

○PTAとの連携

- ・地域を知る活動、守る活動

成木小でよかったを思える瞬間を！

オール成木で祝う

⑧学校の働き方の推進

⇒新しい学校の在り方へ

学力向上

ICTの活用推進

指導の工夫

○授業時間の縮小(余剰時数の縮小)

- 学習の精選 密度の濃い授業へ
- カリキュラムマネジメント
- 各教科・領域をつなぐ
- 学んだことを活用する場面創出
- 発達段階を配慮した指導

○登下校時間の厳守

○学校業務のスリム化

- 学年だよりを学校だよりへ
- 残業の縮小・年休の取得促進

出来るところから >ご協力を

④体力の向上 ⇒生涯を通して健康への関心をもつ力

生涯教育

健康教育

- 一校一取組 >学期当初に体づくり運動を実施
- マラソン週間 >地域・中学校との連携事業
- 保健朝会 >健康についての意識向上
- ロング昼休み・外遊び >**遊びを通して体力向上**

体を動かす場面を**意図的に作る**。そして育てる。

⑤たてわり活動の充実 ⇒人間力

社会貢献

心の教育

健全育成

社会のよき生成者

○たてわり活動 >異学年とのかかわりを通して
気遣う心を育てる

○たてわり遠足 >青梅市内を歩く

○たてわり集会 >遊びをとおして関わり合いを育てる

○たてわり掃除 >教え合う・助け合う気持ちを育てる

助け合う、思いやる心を見とる、評価する→**社会性の育成**

⑥ICTの活用 ⇒情報活用能力と操作能力

学力向上

個別指導

○タブレットを使いこなす >目的に応じて利用する力を育てる

○ツールとして使いこなす >学び合い 教え合い

○連絡手段として使いこなす >リモート 交流

◎デジタルドリルで繰り返し学習

使いつくしてみる。使わせてみる。記録をまとめる